

News Letter

Vol.75 Spring
2026.3月

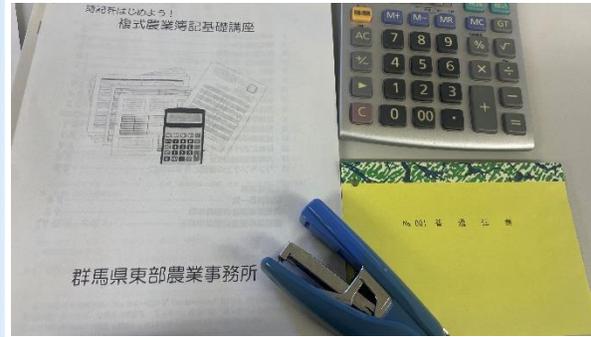
細谷隊員 活動報告

2月は、1月から引き続き、「複式農業簿記講座」に参加しました。農業では栽培技術を中心に学んできましたが、改めて経営の視点から学ぶことの大切さを実感しました。

講座では、仕訳の基本や帳簿の付け方、収支の整理方法などを学びました。数字として整理することで、これまで感覚で捉えていた経営状況がはっきりと見えるようになり、自分の取り組みを客観的に振り返るきっかけになりました。

協力隊として地域に関わるなかで、持続可能な農業経営を実践することは、自分自身の基盤づくりであると同時に、地域にとっても大切なことだと感じています。しっかりと経営管理ができる担い手が増えることで、地域農業の安定化や次世代への継承にもつながると考えています。

まだまだ勉強中ではありますが、今回学んだことを日々の活動に活かし、地域に根ざした持続可能な農業の形を実践できるよう取り組んでいきたいと思えます。



↑ 農業簿記の様子 ↑

↓ アスパラ苗の定植 ↓



OB 小島 活動報告

年が明けてからあっという間に3月を迎えました。今月はこれまでの活動について私から報告させていただきます。

11月末から蜂たちの冬越しの準備を行いました。新聞紙やビニールなどをうまく使ってなるべく箱の中の温度が高く保てるように工夫し、時々蜂たちの様子を見ながら飼育をしていました。熊出没の不安や降雪もありましたが、2月の時点では全滅してしまった箱は無いようで、うまく冬越しできたのかな、と少し安心しています。これからは採蜜に向けて動いていく時期になります。引き続き今年も一年無事に飼育できるように頑張りたいと思えます。

養蚕の方は、春の飼育に向けて蚕室の清掃や桑園の管理が今月から始まります。余分な枝を切ったり、肥料を撒いたりといった作業が待っています。こちら先のことを考えながら効率よく進められるように頑張りたいです。

暖かい日も増えてきましたが、まだまだ温度差の激しい日が続くようなので、皆様お体に気を付けてお過ごしください。

巣箱内の蜂たちの様子



桑園の
桑の芽の
様子